

7. 農山漁村室

事務事業名	多様な主体との交流・共生による農山漁村再生事業 (県単 平成23年度～)
事業の概要	都市と農山漁村との交流・共生を促進するため、棚田や郷土料理、農林漁業体験など農山漁村の魅力は大都市圏等へ広く情報発信するとともに、農山漁村の地域資源を活用し、「健康」等をキーワードとした新たなグリーン・ツーリズムを推進します。 事業の内容 県外近隣大都市圏における三重の里PR 三重の里ファンづくり グリーン・ツーリズムネットワーク構築 人間福祉型グリーン・ツーリズム等プログラム開発 新たなグリーン・ツーリズム研修会開催 グリーン・ツーリズムコーディネーター派遣
助成対象等	県事業
県予算額	7,500千円(H22 13,657千円)
担当室・グループ	農山漁村室ふるさと振興グループ(059-224-2551)
(備考)	平成22年度欄は、都市との共生による農山漁村再生事業、グリーン・ツーリズムネットワーク拡充事業の合計金額

事務事業名	人の生活と野生生物との新たな共生促進事業(一部国補 平成23年度～)
事業の概要	人の生活と野生生物との新たな共生を進めるための取組として、集落間連携の強化や人材育成を進めることで、県産農林水産物への被害の軽減化を図り、多様な主体による地域での自立した獣害対策の取組を促進します。 事業内容 獣害につよい集落づくりの推進 追い払い等の活動者の育成 モンキードッグの活用促進 ニホンジカによる被害対策の推進 野生獣出没予察方法の検討 被害防止施設整備等の推進 鳥獣被害防止特措法により市町が作成した被害防止計画に基づき、鳥獣被害防止施設整備や地域協議会での取り組みを支援します。 鳥獣被害防止総合対策事業費補助金(国庫補助) 推進事業 (協議会事業) 整備事業 (協議会等事業)
助成対象等	県事業、協議会等事業
県予算額	195,611千円(H22 - 千円) 859,309千円(6月補正) 国庫補助 定額、1/2～55/100 185,000千円(6月補正 859,309千円)
担当室・グループ	農山漁村室 獣害対策グループ (059-224-2017)

事務事業名	中山間地域活性化新獣害対策事業（県単 平成23年度～）
事業の概要	地域における農林水産物への被害を軽減するために、野生鳥獣の有害捕獲体制の整備や捕獲技術の向上を促進し、捕獲した野生獣を有効に利活用する取り組みを支援します。 事業内容
助成対象等	（１）野生生物の維持管理・回復事業 加害鳥獣駆除の推進 有害鳥獣捕獲緊急対策事業費補助金（県単補助） 捕獲隊の編製の推進 有害鳥獣捕獲隊編成・活動促進事業費補助金（県単補助） 集団捕獲、捕獲技術の推進 被害対策のための基礎調査 （２）多様な主体による人の生活との野生鳥獣の共生推進事業 野生鳥獣による農林産物への被害について考えるフォーラムの開催や研修会、共生のための資材等の展示会を開催します。 （３）野生獣活用推進事業 市町等が有害捕獲野生獣（シカ、イノシシ）の利活用を進めるための実施計画づくりを支援します。 有害捕獲野生獣有効活用支援事業費補助金（県単補助） 県事業、市町、協議会等事業
県予算額	50,911千円（H22 - 千円） 県単補助 1/2以内 42,000千円
担当室・グループ	農山漁村室 獣害対策グループ（059-224-2017）

事務事業名	基幹農道整備事業
事業の概要	農道網の基幹となる農道の整備を行うことにより、農業生産の近代化及び合理化を図り、併せて農村環境の改善に資することを目的として、農道整備事業を行います。 事業内訳 継続地区4地区（上野依那古2期、金山みかん、鮎川3期、原・宮古）
県予算額	137,550千円（H22：236,325千円） 77,700千円（6月補正）
担当室・グループ	農山漁村室 農村整備グループ（059-224-2602）
（備考）	平成22年度実績 農道工1式 負担区分 工事費 国50% 県 8/30 その他 7/30

事務事業名	広域農道整備事業
事業の概要	広域営農団地育成対策の一環として、その地域内に近代農業に適合する理想的な農道網を整備して零細団地の集団化、経営の協業化を図ると共に、地域内における農耕、収穫、運搬、選別、加工、出荷等の諸作業を広域的に一貫した流れ作業化することにより高生産性農業を展開し、併せて、農村生活環境を整備することを目的として、農道整備事業を行います。 事業内訳 継続地区3地区（中勢3期、中南勢、中南勢2期）
県予算額	388,500千円（H22：1,566,937千円） 651,000千円（H22年12月補正）

担当室・グループ	農山漁村室 農村整備グループ (059-224-2602)
(備考)	平成22年度実績 農道工1式 負担区分 工事費 国50 県35 その他15(%)

事務事業名	ふるさと農道緊急整備事業
事業の概要	農村地帯において緊急に対応しなければならない課題に応えるため、早急に整備する必要がある農道について国庫補助事業と地方単独事業を効果的かつ積極的に推進していくことにより、その整備を大幅に促進し、もって農村地帯の振興と生活環境の改善に資することを目的として、農道整備事業を行います。 事業内訳 継続地区8地区(度会北部、度会北部2期、小波田、道行竈、松下) (川添、岩倉松尾、大井田東部)
県予算額	683,366千円(H22:770,630千円) 447,834千円(6月補正)
担当室・グループ	農山漁村室 農村整備グループ (059-224-2602)
(備考)	平成22年度実績 農道工1式 負担区分 工事費 国 - 県 65 その他 35(%)

事務事業名	県営中山間地域総合整備事業
事業の概要	中山間地域の受益農家と地域住民に対して、農業生産性や農村生活環境の向上を図るために農業生産基盤と農村生活環境について総合的に整備し、地域住民への地域づくりへの積極的な参加をうながし農村地域の活性化を図ります。 事業内訳 新規地区2地区(大台、志摩北中部) 継続地区5地区(紀北、熊野南部、紀宝中部、熊野北部、御浜西部)
県予算額	462,000千円(H22:350,855千円) 10,000千円(H22年12月補正) 310,881千円(6月補正)
担当室・グループ	農山漁村室 農村整備グループ (059-224-2602)
(備考)	平成22年度実績 農業生産基盤整備 1式 農村生活環境整備 1式 負担区分 工事費 国55 県30 その他15(%)

事務事業名	団体営農村振興総合整備事業
事業の概要	農業振興地域内の住民及び農用地に対して農村空間の整備、生活環境の向上、及び快適環境の形成のために農業生産基盤や農村環境整備を実施し地域住民の積極的な参加により農村の活性化を図ります。 事業内訳 継続地区3地区(御浜南部、紀宝2期、東員・桑名)
県予算額	15,203千円(H22:47,965千円) 72,000千円(H22年12月補正) 490千円(6月補正)
担当室・グループ	農山漁村室 農村整備グループ (059-224-2602)
(備考)	平成22年度実績 農業生産基盤整備 1式 農村生活環境整備 1式 負担区分 工事費 国50 県10 その他40(%)

事務事業名	県営農村振興総合整備事業
事業の概要	農業振興地域内の住民及び農用地に対して農村空間の整備、生活環境の向上、及び快適環境の形成のために農業生産基盤や農村環境整備を実施し地域住民の積極的な参加により農村の活性化を図ります。 事業内訳 継続地区 1 地区（伊賀）
県予算額	83,160千円（H22： - 千円） 840千円（6月補正）
担当室・グループ	農山漁村室 農村整備グループ（059-224-2602）
（備考）	平成22年度実績 農業生産基盤整備 1式 農村生活環境整備 1式 負担区分 工事費 国50 県25 その他25（%）

事務事業名	団体営農業集落排水整備促進事業
事業の概要	生産性の高い農業の実現と活力ある農村社会の形成に資するため、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、及び農村生活環境の改善を図ることを目的とし、あわせて公共用水域の水質保全にも寄与するよう農業集落におけるし尿、生活雑排水又は雨水を処理する施設の整備を行います。 事業内訳 （整備及び改築） 新規地区 1 地区（比奈知） 継続地区 5 地区（井田川北・汲川原、赤目南部、水沢東部、和無田、昼生） （機能保全） 継続地区 2 地区（いなべ市、名張市）
県予算額	215,396千円（H22：985,024千円） 113,900千円（H22年12月補正） 123,564千円（6月補正）
担当室・グループ	農山漁村室 農村整備グループ（059-224-2602）
（備考）	平成22年度実績 （整備及び改築）処理施設一式、管路工一式 （機能保全）機能診断一式、最適整備構想一式 負担区分 （整備及び改築）国50 県 - その他50（%） （機能保全） 国定額